

平成23年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費

国際観光推進課（内線：7221）

（単位：千円）

| 事業名  | 本年度  | 前年度    | 比較     | 財源内訳  |    |     |        | 備考 |
|--|--|--------|--------|-------|----|-----|--------|----|
|  |  |        |        | 国庫支出金 | 起債 | その他 | 一般財源   |    |
| 世界へ打って出る<br>“とっとり”国際観光<br>推進事業（外国人観光<br>客誘致推進事業） | 78,848   | 50,522 | 28,326 |       |    |     | 78,848 |    |
| トータルコスト  | 94,824千円（前年度86,022千円）〔正職員：2.0人〕  |        |        |       |    |     |        |    |
| 主な業務内容   | 海外での広報宣伝、旅行商品の造成・販売促進支援、海外プロモーション業務の委託、国際交通インフラの利用促進ほか   |        |        |       |    |     |        |    |
| 工程表の政策目標<br>（指標）                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>鳥取県の観光魅力を高め、国内外に情報発信することにより、鳥取県への外国人観光客の誘致を図る。</li> <li>米子ソウル便、環日本海航路を活用して、北東アジアをはじめとする海外諸地域との観光交流を促進する。</li> </ul> |        |        |       |    |     |        |    |

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

海外からの観光客を増やすことにより、本県の観光振興を図るとともに、その際の誘客手段である米子ソウル便及び環日本海定期貨客船の維持・発展を図る。

2 主な事業内容

（単位：千円）

| 区分                    | 予算額    | 内容  |
|-----------------------|--------|---|
| (1) 市場別事業             |        |   |
| ① 韓国                  | 26,798 | ○観光情報発信 14,400<br>インターネットやテレビ等を活用した広報宣伝、DBS船内での観光宣伝コーナー設置<br>(新)現地プロモーション企画・運営委託 4,200<br>韓国マーケティング会社に旅行会社へのプロモーション、メディアを活用したPRの企画・調整業務を委託<br>○ソウル駐在員の2名の配置 8,198 |
| ② ロシア                 | 12,600 | ○観光情報発信（テレビ番組・CM等） 12,600<br>(新)映画館でのCM上映による観光宣伝、雑誌への広告掲載<br>(新)観光情報発信ナビゲーターの配置、乗船体験会の実施  |
| ③ 台湾                  | 4,300  | ○観光情報発信（インターネットの活用） 1,900<br>(新)現地プロモーション企画・運営委託 2,400<br>台湾広告代理店に旅行会社へのプロモーション業務を委託  |
| ④ 新規市場                | 8,200  | ア 香港・タイ・シンガポール等開拓市場 4,200<br>○観光情報発信（雑誌等への広告掲載）<br>(新)現地プロモーション企画・運営委託<br>イ (新)中国 4,000<br>○観光情報発信（インターネットの充実など）<br>○マーケティング調査委託（民間会社、シンクタンク等）                    |
| ⑤ 国際チャーター<br>便運行促進対策  | 1,250  | 運航会社とタイアップした広報宣伝経費  |
| (2) 共通事業              |        |   |
| ① 旅行会社等視察<br>ツアーの実施   | 5,000  | 旅行会社・メディア等を招へいして視察ツアーを行うことにより、旅行商品造成及び広報宣伝を図る。  |
| ② (新)旅行商品造<br>成等経費へ支援 | 8,000  | 観光客を誘致するための海外販売促進等を行う県内団体、海外旅行会社に対して支援金を交付（補助率：1/2）   |
| ③ 国際交通インフ<br>ラ利用促進対策  | 8,000  | 米子ソウル便・環日本海貨客船利用促進のための送客報奨金<br><島根県（山陰国際観光協議会へ同額負担）と共同実施>   |
| ④ 事務費等                | 4,700  | ・職員旅費等  |
| 合計                    | 78,848 |   |

3 これまでの取組状況・改善点

- (1) 韓国、台湾、ロシア等におけるインターネット情報提供、雑誌・テレビなどによる広報宣伝。  
新年度は各市場の特徴や現状に基づき、民間の経験・知識やネットワークを活用しながら、効果的・効率的なプロモーション（広報宣伝、旅行商品の造成・販売促進）を実施する。
- (2) 中国などの新たな市場の開拓にも積極果敢に挑戦する。